

AIアプリ「マグナとふしぎの少女」を取り入れた小学校外国語の実践

実践内容



【talkの場面で活用】 友達の一人としてAIと会話練習を行う

単元内自由進度学習
外国語「UNIT7」学習
の手引きはこちら→

1人の児童が、友達6人とAIアプリ内のキャラクターAIレイちゃんと教師の計8名と会話を行い、どんな相手でも自分の思いを伝えることができる力をつける。

単元内自由進度学習の要素を取り入れるため、黒板に貼ってあるエントリー表を参考に、会話する相手の順番は児童が自ら決めるようにする。AIのLevel や速さも各自設定する。日本語の併用、翻訳・修正機能の利用可。終了後画面保存しアプリ上に提出。児童の発音が不明瞭だとAIに伝わらず想定外の反応をされることもある。各自困ったことを全体で共有し、改善を考え実践、うまくいったこと報告をする。

【発展課題の選択肢として活用】

Unit Goal ⑩動画提出後の発展課題の選択肢の1つとしてAIアプリを活用する。「物語」の中では、分からない語が出てきても、とにかくストーリーを聞き、概要をとらえる。「物語」を進めて行く中で、キャラクターとの発音バトルが途中で出現する。4技能についてそれぞれ10級からlevel upしていく。Bingoなどの機能もあり児童は興味を持って取り組むことができる。

【紹介内容の相談相手】 中学校での即興につながる 可能性を探る

伝えたいことがたくさん出てきたときに優先順位をつけ情報の取舍選択をし、精選させる場面において、自分が伝えたいことだけにならないよう、聞き手の立場にも立ち、場面や状況に応じて伝えられるようにする。習った英語を使ってお互いに質疑応答しあう。興味のあることは自分も質問する。伝え方がわからない場合はAIを使って調べることも可とする。

AIレイちゃんとフリートークしてみよう

(会話例 児童発話のまま記載)

児童A：Where you to? Like go.

AIレイちゃん：I like the sea. Do you go to the beach?

児童A：I want to go to Kanazawa.

AIレイちゃん：You want to go to Kanazawa. 金沢へ来たいんだ。

The Shinkansen is fast!

新幹線は速いよ!

児童A：I can see 兼六園ガーデン。

AIレイちゃん：You can see Kenrokuen Garden. It's one of the Three Great Gardens of Japan.

成果と課題

- 児童は、相手の状況を考えて、どんな工夫が必要か考えて会話する姿があった。AI会話で、改めて「思いやりtalk」の大切さを確認した。
- 語が教科書に対応しているわけではないので、小学校では習わない様な表現も出てくるが、chankでrepeatし上手な発音をしている児童がいた。自然に、こんな時に使う表現（音）という感覚で児童にinputされている印象を受けた。
- text学習だけではできない英語のシャワーを繰り返し浴びることで、英語が蓄積することを期待している。
- なぜ、AIアプリを使った学習を外国語で行うのか、その価値の意味を根気強く時間をかけて児童に伝える必要がある。
- どの場面でどの機能をどんな使い方をするかまたどんな教師の声掛けが効果的なのか、実践を積む必要がある。

児童がAI英会話アプリを使用している様子→

